

「農」の専門部会
～ 調査検討経過について～

- 1 「農」の専門部会～調査検討経過について～ P 1
- 2 課題解決のための調査検討シート P 2
(食育を通じた交流)
- 3 農業体験、食育を通じた交流イメージ P 3
- 4 王禅寺小学校における「農作業」に関するニーズ調査結果
及び具体的な取組内容について P 4
- 5 課題解決のための調査検討シート P 5
(市場、直売所を通じた交流)
- 6 課題解決のための調査検討シート P 6
(市民農園を通じた交流)

「農」の専門部会～調査検討経過について～

区 分		調査検討内容
会議名	年月日	
第3回区民会議	18.12.22	・専門部会の設置を決定
第1回専門部会	19.1.16	・正副部会長の選出 ・部会名称の決定 ・調査事例の絞込み (優先順位の決定 事例から検討)
第2回専門部会	19.2.14	・事例 の調査検討
[校長会へアンケート実施依頼]	19.2.27	・小学校校長会に出席し、アンケートを依頼
[アンケート実施]	19.3.6	・小学校あてアンケート依頼
第3回専門部会	19.3.8	・事例 の調査検討
第4回区民会議	19.3.22	・調査検討経過の報告
[アンケート回収]	19.3.28	・アンケート回答期限
第4回専門部会	19.4.19	・事例 の調査検討
第5回専門部会	19.5.9	・事例 の調査検討
[王禅寺小訪問]	19.5.15	・事前調査の実施(事務局)
第6回専門部会	19.5.22	・事例 の調査検討
[校長会へのアンケート結果依頼]	19.3.28	・小学校校長会に出席し、アンケート結果を報告
第5回区民会議	19.6.6	・調査検討経過の報告
第7回専門部会	19.6.11	・事例 の調査検討
[王禅寺小訪問] (部会長、委員2名)	19.7.2	・提案内容(交流イメージ)の説明 ・学校にニーズ調査を依頼 ・学校農園の現地確認
第8回専門部会	19.7.9	・事例 の調査検討 ・次に調査検討する事例の選定
[王禅寺小回答]	19.7.24	・ニーズ調査回答
第9回専門部会	19.7.9	・事例 の調査検討 ・事例 の調査検討 事例 から優先的に検討
[王禅寺小関係者]	19.9.3	・地元町内会、関係者へ説明
第10回専門部会	19.9.6	・事例 の調査検討 ・事例 の調査検討
[王禅寺小訪問] (正副部会長)	19.9.19	・具体的な取組内容の検討
第6回区民会議	19.10.5	・調査検討経過の報告

事例 市民農園を通じての交流	事例 市場、直売所を通じての交流	事例 食育を通じての交流
・現状の取組等の把握	・現状の取組等の把握	・現状の取組等の把握
		・小学校へのアンケートの実施 内容の検討 ・関係者からの意見聴取 体験農業実行委員会 JAセレサ川崎
		・課題解決策のアイデアの検討
		・審議事例として決定 ・アンケートの実施決定
		・アンケート結果を受けての今後の方向性の検討
		・モデル校の選定 ・モデル校に対する事前調査内容の検討
		・モデル校での取組方法の検討 ・「農」のアイデアシートの検討
		・王禅寺前小学校でのモデル実施の決定
		・学校への提案内容の検討
		・学校訪問結果を受けての今後の進め方の検討
・現状の把握 (法的に困難な問題が多い)	・大型農産物直売所(JAセレサモス)の概要把握 ・大型農産物直売所を通じた交流の検討	・学校のニーズに応じ、学校農園にリーダー、サポーターを派遣 ・地元町内会、学校関係者への事前の了解
	・大型農産物直売所(JAセレサモス)を通じた交流の検討	・具体的な取組内容(リーダー・サポーターの人数・募集方法、実施内容・時期等)の検討

区の課題

課題解決のための調査検討シート

～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題
『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容
～麻生区特性である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19.1.16～
市民農園を通じた交流
市場、直売所を通じた交流
食育を通じた交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

イ **体験農業 親子で米づくり** (協働推進事業)
～19.2.14～
【関係者(実行委員長)から意見聴取】

ウ **学校における農業体験、食育に関する取組**
～19.3.7～
【小学校あてアンケートの送付】

区民等の取り組み

ア **次世代・地域住民との交流事業(JA)**
～19.2.14～
【関係者(JAセガ川崎)から意見聴取】

イ 直売所を通じた農産物の販売

3. 課題の解決策のアイデア

集会場等で、農家の方から、区民が、料理(梅干、豚汁、たんあん、など)を覚えてもらう。
家庭菜園のための知識・ノウハウを覚えてもらう。
覚えてもらった人が、さらに初めての人に教える仕組みづくり(農のサポーター)

行政などが、野菜や花卉の苗・球根を配布し、区民は、その育て方などを覚えてもらう。(柿の木の事例あり、3年で100本の苗配布・課題・資金)

畑で、農家から、区民が、いちご等の生産物を、一定単位(畝など)で購入できる仕組みづくり

市等の広報誌に、児童などが地元の農家にヒアリングし、記事を作成・掲載

区民の生ごみの堆肥化を促進し、その堆肥を地元農家に利用してもらう。

[学校関連]

「給食だより」に、農家あるいは児童が、地元農家や農産物の紹介等の記事を作成・掲載

学校の花壇に、球根や農家で売れ残った花などを植えに行く。

学校の花壇を畑に転用

アンケート結果の取りまとめ、情報の提供

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

短期的対応策		
ア 小学校におけるアンケート結果の取りまとめ・情報の提供(各小学校、教育委員会、関係機関等)	主な担い手と役割 区民 ・農業従事者、経験者の派遣 ・農の市民サポーター 区 ・農業従事者、サポーター等の募集・紹介 ・取組事例の広報 〇市 ・教育委員会、経済局等による事業の推進	予算見込み額の検討 予算確保の手法
イ 食育を通じての地域の交流(モデル校) ・農業指導者の派遣 ・農業サポーターの募集・派遣		
ウ	関係部局 ・教育委員会 ・経済局	
達成期間		
中・長期的対応策		
ア 食育を通じての地域の交流(各小学校)	主な担い手と役割 区民 区 市	予算見込み額の検討 予算確保の手法
イ		
ウ	関係部局	
達成期間		

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア 食育を通じた地域との交流

イ 地産地消の推進

ウ

6. 総合計画上の位置付け

ア 人を育て心を育むまちづくり

イ 個性と魅力が輝くまちづくり

ウ 参加と協働による市民自治のまちづくり

7. 課題解決に向けた取組

ア 関係機関等へのアンケート結果の情報提供

イ 農業従事者、経験者、農業サポーターの募集や支援を希望する学校への派遣

ウ

8. 課題解決への取組の評価、進行管理

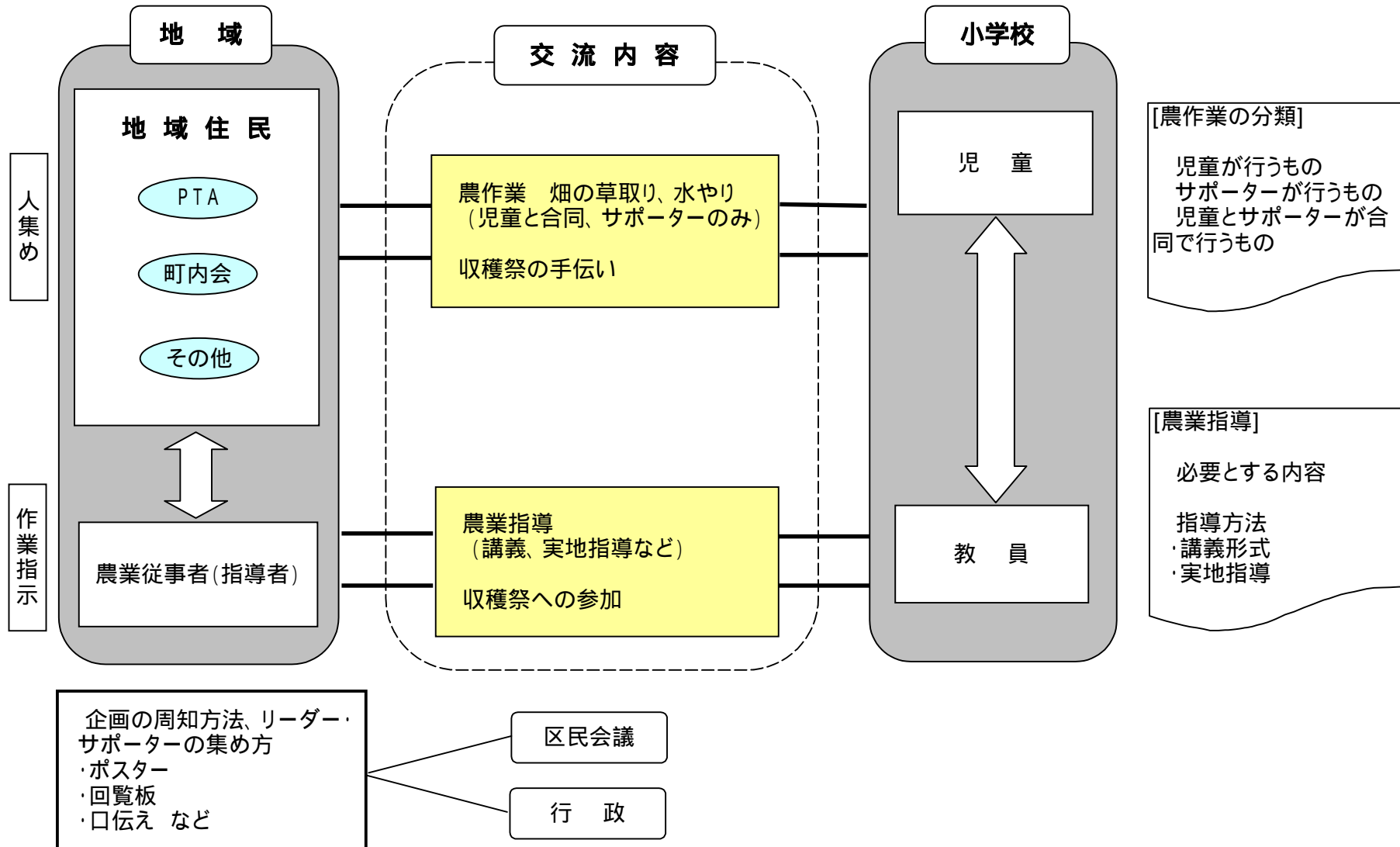
評価

進行管理

農業体験、食育を通じての交流イメージ

平成19年7月2日
王禅寺小学校訪問

目的 = 地域のつながりをつくる



王禅寺小学校における「農作業」に関するニーズ調査の結果について

対 象	場 所	内 容	時 期	指導・作業を 依頼したい人	具体的に関わってほしい内容
学校全体	校外農園	「さつまいも」づくり	5月～11月	・指導者 ・地域住民	[5月] ・土起こし ・畝づくり ・まるち(黒ビニール)がけ ・苗植え ↑ ・水やり ↓ ・草取り [11月] ・収穫時の手伝い ・やきいものやり方 ・茶巾しぼりの料理方法
1年生	校内学年園	「球根」の植え方、 育て方	10月	・指導者	・鉢植えの仕方 ・育て方 ・世話の仕方
2年生	校内学年園	「野菜(トマト、ナ ス、ピーマン等)」 のつくり方	5月～7月	・指導者	・土づくりの仕方 ・育て方 ・世話の仕方

*3年生～6年生 = 要望事項なし。

平成19年9月19日
王禅寺小学校訪問

王禅寺小学校における「農作業」に関する具体的な取組内容について

1 日 時	平成19年9月19日(水)午前10時～午前11時
2 訪問委員	尾中部会長、高桑副部会長、事務局
3 趣 旨	ニーズ調査の結果を受け、具体的な取組内容を検討する。
4 主な経過	19.7.2 学校訪問(部会長、委員2名)～「交流イメージ」の説明、「ニーズ調査」を依頼 19.7.24 「農作業に関するニーズ調査」結果の回答(上記のとおり) 19.9.3 地元町内会、関係者(校外農園所有者、田んぼ指導者等)等への事前説明 19.9.19 学校訪問(部会長・副部会長)、具体的な取組内容の検討

具体的な取組内容の検討について

- 当初は、校外農園(畑)を中心に取組を進めていく。
- 想定される内容、手順等
農作業の中心となる指導者(リーダー)を決定する。
リーダーの条件として、地域に居住している人、こどもとのかかわりを大事にしてくれる人、学校教育に理解がある人が望ましい。
リーダー決めた後、サポートする人を集める。
畑の規模からすると、サポーターの人数それほど多くは必要としない。
サポーターは、地域への呼びかけを進めながら徐々に増やし、地域全体へと広がりをもたせていく。
- 今後の進め方について
～学校側に具体的な要望の取りまとめを依頼～
いつから(カリキュラムの関係で次年度から、11月の収穫祭から など)
かかわる内容(土起こし、水やり、草取りなどの具体的な作業メニュー)
かかわり方、人数(学校との具体的なかかわり方、指導者やサポーターの人数 など)

区の課題

課題解決のための調査検討シート ～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題
『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容
～麻生区特性である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19.1.16～
市民農園を通じての交流
市場、直売所を通じての交流
食育を通じての交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

・花と緑の市民フェア
・品評会、園芸博覧会
・畜産まつり など

区民等の取り組み

ア 次世代・地域住民との交流事業(JA)
イ 農業まつり、園芸まつり(JA)
ウ 「セレサモス」のオープン(JA)
エ 直売所を通じた農産物の販売 など

3. 課題の解決策のアイデア

大型農産物直売所「セレサモス」(平成20年4月オープン予定、麻生区黒川)を核とした交流

- ・農家が区民に野菜の調理法を教える。
- ・農家が区民に花や野菜などの栽培方法についての相談・指導を行う。
- ・農産物の収穫期に合わせたイベントを行う。
- ・
- ・

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

短期的対応策		
ア	主な担い手と役割 区民	予算見込み額の検討
イ		
	区	予算確保の手法
	○市	
	関係部局	
達成期間		
中・長期的対応策		
ア	主な担い手と役割 区民	予算見込み額の検討
イ		
	区	予算確保の手法
	市	
	関係部局	
達成期間		

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア
イ

6. 総合計画上の位置付け

ア
イ

7. 課題解決に向けた取組

ア
イ
ウ

8. 課題解決への取組の評価、進行管理

評価
進行管理

区の課題

課題解決のための調査検討シート ～「農」の専門部会～

1. 区の課題

標題
『心が響きあう地域づくり』
事例～地元農産物と地域の交流

課題の内容
～麻生区の特徴である「農」を通じて、どのように「地域づくり」につなげていくか～

[課題の絞込み] ～19.1.16～
市民農園を通じた交流
市場、直売所を通じた交流
食育を通じた交流

2. 課題に対する現状の行政・区民等の取り組み

行政の取り組み

ア かわさき「農」の新生プランに基づく施策の推進

- ・市民農園
- ・市民農園リーダー養成
- ・農(みのり)の寺子屋 など

区民等の取り組み

ア JAふれあい農園

イ 体験型農園(農地所有者) など

↓

法的に困難な問題が多く制約がある

3. 課題の解決策のアイデア

4. 課題解決策の具体化に向けた検討

短期的対応策		
ア	主な担い手と役割 区民	予算見込み額の検討
イ		
	区	予算確保の手法
	○市	
	関係部局	
達成期間		
中・長期的対応策		
ア	主な担い手と役割 区民	予算見込み額の検討
イ		
	区	予算確保の手法
	市	
	関係部局	
達成期間		

5. 課題解決により期待される効果、成果

ア

イ

6. 総合計画上の位置付け

ア

イ

7. 課題解決に向けた取組

ア

イ

ウ

8. 課題解決への取組の評価、進行管理

評価

進行管理